



クリスマス会

と き 12月22日(金)午後3時から4時まで

ところ あげおしとしゃかん
ほんかん1かい おはなしのへや

たいしょう 小学生ならだれでも

ていいん 20名(先着順)

もうしこみ 12月5日(火)からでんわ
(048(773)8521)で
あげおしとしゃかん
ほんかんへ



えほんのよみきかせや
パネルシアター、クイズもやるよ。
読書パスポートに
スタンプをおすよ!



みんなのとしゃかん

こどもしつだより

No 255 令和5年12月
あげおしとしゃかん

なぜ、クリスマスには「メリー・クリスマス」と声をかけ合うのでしょうか？ メリーは、英語で書くと「Merry」となります。「楽しい」とか「ゆかいな」という意味。つまり、



「メリー・クリスマス」とは、「楽しいクリスマスを！」や「クリスマスおめでとう！」と言っているんですね。

さて、としゃかんでは、クリスマスが近づくと、クリスマスの飾りつけをしています。ほんかんのじどうしつを入れてすぐ左に、*「アドヴェント・カレンダー」を飾っています。

じどうしつに一番早く来てくれた人に、人形を1つ選んでもらい、カレンダーに飾ってもらっています。やってみたい人がいたら、早めに来てくださいね!

*アドヴェント・カレンダー

12月1日からクリスマスまでのカレンダーのことで、白めぐりになっているものや白にちのところをはがすと絵があらわれたりするものなど、いろいろな種類があります。





クリスマスのほん



「あかいそりにのったウーフ」 神楽 利子/作 井上 洋介/絵 ポプラ社 (Fカン)



きょうはクリスマス。おとうさんから赤いそりをもらったウーフは、大よろこび。さっそくツネタといっしょにのると…。ウーフのたのしいクリスマスがはじまります。誕生から50年以上愛され続ける「くまの子ウーフ」。はじめてのひとり読みにぴったりな1冊です。



月刊たくさんのふしぎ 2020年11月号 (第428号)

「トナカイに生かされて」 長倉 洋海/写真・文 福音館書店 (Z)

シベリアで、トナカイと生活をする遊牧民「ネネツ」の人たち。ひとつの家族で飼うトナカイは1200頭にもなり、人々はトナカイをととてもかわいがっています。トナカイの肉を食べ、トナカイの皮で着るものやテントを作り、トナカイを売ってお金も稼ぐ、ネネツの家族をおいかけた写真絵本です。



「スノーマン」 レイモンド・フリックス/作・絵 評論社 (E5)



少年がつくったゆきだるまに命がやどり、二人は一緒に楽しい一夜を過ごします。文字のない絵本が世界中の子供たちをワクワクさせました。クリスマスに読みたくなる一冊です。

「クルミわりとネズミの王さま」 ホフマン/作 上田 真而子/訳 岩波書店 (F9ホ7)



マリーはクリスマスプレゼントにももらったクルミわり人形を一目で気に入ります。その夜、ネズミの王さまがあらわれ、クルミわり人形ひきいるおもちゃたちと戦いはじめます。バレエ組曲にもなったドイツの幻想的な物語です。



「ちいさいフクロウとクリスマスツリー」 ジョナ・ウィンター/文 ジャネット・ウィンター/絵 福本 友美子/訳 鈴木出版 (E千)

大きな木にすんでいた小さいフクロウ。ある日、クリスマスツリーにするため、大きな木がきりたおされ、フクロウは木のあなに入ったままニューヨークのどまん中にはこぼれてしまいました。フクロウはぶじに森にかえることができるのでしょうか？2020年にアメリカで本当にあったおはなしです。



「子どもが作れるプレゼント菓子」 柴田書店/編 柴田書店 (596)



プレゼントにぴったりなお菓子を4人のパティシエが教えてくれます。クッキー、チョコレート、マフィンなどおしゃれなお菓子を手作りして、クリスマスプレゼントにしてみませんか？かわいいラッピングの方法も載っています。